



Public relations magazine

2013.7 No.707

てしかが

「未来に向かって大きくな～れ」

6月7日に行われた、おひさま保育園卒園記念植樹での1コマです。年長児が力を合わせて桜の苗木16本を植えました。
(関連記事4ページ)

主な内容

- 未来に残したい宝がある……………2
- 「少年の主張」弟子屈大会……………8
- 平成24年度弟子屈町財政の状況……………10
- 第23回参議院議員通常選挙……………18
- この夏も引き続き無理のない範囲で節電を……………14
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設……………29

むかしむか史 (273)

てしかが歴史写真館 147



樹齢200年 弟子屈神社の桜

弟子屈神社境内には樹齢200年を超える桜の木が御神木として祀られている。

先日のことであるが、観光に来た方がこの桜の木を見ようと近くの通行人に尋ねてみたが「樹齢200年の桜の木のことには分からない」と言われたという。町外の方が桜の名木を見ようと訪れているときに、町内の方が案内できればより良い町の印象になる。境内にたくさんある桜の木の中に、樹齢200年を超える木があることはまだまだ知られていない。

弟子屈神社にある案内板には

御神木(蝦夷山桜、樹齢200年)

昭和42年、神殿全焼にもかかわらず、御神体は消失せず現在も鎮座されている。その災害にて枝の一部を失いながら弟子屈町の氏子の幸せを願い見守り続けている。

平成22年5月吉日

弟子屈神社 宮司 関 義宣

と記されている。

桜の時期に紹介できなかったことが残念である。弟子屈町内には「名木」とされる木が多くあるので、これから何回かにわたって紹介しようと考えている。

てしかが郷土研究会(菊池)

てしかが 2013.7

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ☎482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています



未来に残したい宝がある

わたしたちが住む弟子屈町
阿寒国立公園の約56%を抱え、広大な屈斜路湖、神秘の湖摩周湖、噴煙を上げる硫黄山など、類いまれなる豊かな自然に恵まれたまちです
美しいふるさとを守り、次代につないでいくことはわたしたちに課せられた命題であり
昨年策定された第5次弟子屈町総合計画の中でもまちづくりの柱として「自然環境の保全と活用」「循環型社会の構築」がうたわれています
皆さんと町が一体となった「環境」への取り組みあらためて考えてみましょう
身近なところに、できることがあります

「自然豊かで空気がきれいなところが好き」
「いろいろなところから美しい景色を見ることが出来る」
「学校から見える景色が宝」
「水がおいしいのが宝」

総合計画の策定に当たって、まちづくり町民会議や町民や団体、中高生へのアンケート、高校生ワークショップなど、皆さんからたくさんの意見をお聴きしました。その中には、冒頭のような意見が多く、皆さんがまちの豊かな自然環境を誇りに思っていることが分かります。
豊かな自然は、わたしたちの生活を直接潤してくれるばかりではなく、産業面でも支えてくれています。豊かな自然環境を糧に、まちの基幹産業として発展してきたのが農業と観光。自然環境を守り、次代へつないでいくことは、まちの安定的な発展にもつながるといえることです。

自然環境の保全と活用。一見相反するこの二つのことを両立させていくことは、まちの未来のために欠かせないことです。総合計画の環境面での基本目標は「人と自然が共生するまちづくりを進めます」。基本目標実現のためのまちづくりの柱が「自然環境の保全と活用」「循環型社会の構築」なのです。

2021年
「水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち」
になるために必要な
環境面からのアプローチ

森を育み 水を守り 環境と景観を創出

わが町の環境を支えていくための柱「自然環境の保全と活用」。具体的にはどのような取り組みが進められているのでしょうか。

- 森林の適正な管理と植林、間伐など(森林所有者)
- 森林組合のほか森林所有者やNPO(非営利団体)などが行う森林づくりの支援(町)
- 水環境の保全
- 学校や企業、行政との連携強化による環境教育
- 植樹祭などの森づくり活動への参加
- エコツーリズムなど、自然環境の保全と活用の推進に必要な人材の育成
- 屈斜路湖適性利用ルールの確立
- まちの美観や自然景観に配慮した集客施設の整備(観光事業者)
- 農業関係者と行政の連携による美しい農業景観の創出



景観緑肥のヒマワリ

水と森に

代表される豊かな自然を守り、豊かな自然を将来に引き継いでいくことを目的とした取り組み。これらは、皆さんと町が協働して進めていくものです。

限りある資源を有効に活用して 環境負荷を低減

もう一つの柱が循環型社会の構築です。自然資源利用による新エネルギーの創出、ごみの減量化などにより、豊かな自然環境に対する負荷の低減を目指します。



美留和の廃棄物処理施設

- 自然再生エネルギー活用への積極的な取り組み(農業などの各事業者)と、支援・協力(町)
 - 弟子屈町地域エネルギービジョンに基づいた取り組み
 - 資源循環型農業への取り組み
 - 3R(Reduce/減らす)「Reuse/繰り返し使ふ」「Recycle/再資源化」運動への取り組み
 - 「自然の番人宣言」事業所の普及
- これらも、皆さんと町との協働により進めていく取り組みです。

環境への負荷を抑える

ごみを減らしていくことは、最も身近な環境保全への取り組みといえます。

また、豊かな自然資源を生かした新エネルギー推進への取り組みも、今後一層進めていかなければなりません。

摩周湖クリーンウォーク2013



ごみを集めながらのウォーキング



職場などのグループに分かれて



道路脇の茂みにもごみが

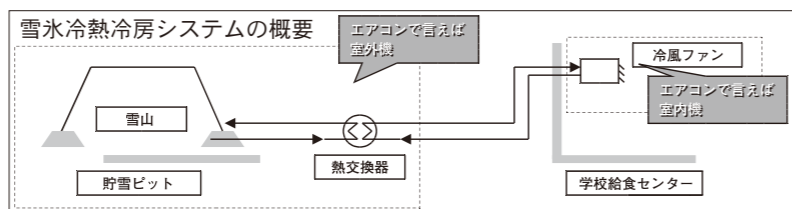
町主催の「摩周湖クリーンウォーク2013」が6月1日、町内各地の国道や道道沿いで行われました。摩周湖周辺の環境保全対策や自然の番人宣言事業、シニックバイウェイ弟子屈エリアの活性化事業の一環として行われたもので、今年で8回目です。今回は一般町民の方や小・中学生、園児のほか、事業所などから約600人が参加。社会貢献活動として8年連続参加している弟子屈町建設業協会(辻谷智之会長)からは、62人が参加しました。参加者は16のグループに分かれ、摩周湖や川湯温泉、仁伏などのコースを歩き、空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻などのごみを930kg集めました。また今年も、弟子屈町建設業協会がトイレカーを2台提供したほか、弟子屈町未来こども協議会(目黒厚子会長の会員がお茶のサービスを行いました。

環境月間(6月)の全町的事業として定着した摩周湖クリーンウォーク。今後も多くの皆さんの参加のもと、未永く継続していきたい取り組みです。

給食センターに雪水冷熱冷房導入

取り壊すにも多額な費用がかかるため、他の利用方法を模索してきましたが、雪水冷熱冷房のための貯雪ピットとして生まれ変わりました。排雪を約600ト貯めることができ、給食センターの厨房室を6ヶ月くらいまで冷房できると試算しています。(来年以降は4月から使用を開始する予定)

学校給食センターに「雪水冷熱冷房」が導入され、6月から本格的に稼働を開始しています。安全・安心な食品づくりのため、国などから義務付けられた衛生管理指標があります。管理指標の一つに「調理環境」があり、室内を「湿度80%・温度25℃以下」に保つことが求められます。給食センターでは、調理の際に熱をたくさん使用するため、気候が冷涼な本町でも、エアコンを使わなければ1年中室温を25℃以下に保つことはできません。エアコンの動力源は電気であり、使用すると地球温暖化の原因物質である二酸化炭素が排出されます。町では「雪を冷房に使えるかどうか、北海道大学の先生のアドバイスなどをいただきながら検討を重ね、補助冷房として有効に利用できる」という結論に至りました。昨年着工した設備の導入作業が完了し、道内初の給食センター「雪水冷熱冷房」として注目されています。



旧弟子屈温泉プールを再利用した貯雪ピット

森を守り育てる

森林には、木材という資源を生み出す役割のほか、水源のかん養(水を地下にためること)や土壌の保全、地球温暖化の原因の1つである二酸化炭素を吸収するなど、たくさんの役割があります。森林が持つ多様な公益的機能が十分に発揮できるよう、森を守り、育てる取り組みが必要です。

弟子屈町植樹祭



1本1本丁寧に



寒空の下 手分けして



ササの根に苦労しながら

弟子屈町植樹祭は自然の貯金箱が6月4日、元・仁多小学校分収林で行われました。緑のふるさとづくりを目的に、町と弟子屈町緑化推進委員会(会長・徳永町長)が主催して毎年行っています。今回も二トリ北海道応援基金の助成を受けて開催され、約100人が参加。肌寒い中、グイマツとカラマツを掛け合わせた改良種の苗2千100本を丁寧に植樹しました。徳永町長は「私たちの手で1本1本植えて育て、孫や子の世代に豊かな森をつないでいきたい」と話していました。

苗木の無料配布会



苗木を求めて長蛇の列が

苗木の無料配布会が6月5日、役場前と川湯支所前で町内の緑化推進のために毎年行われています。配布されたのはびびっくりグミとハスカップという果樹の苗木で、両会場で140本が用意されました。寒さに強く丈夫で、実も楽しめるそうです。会場では緑の募金も行われ、集まった方々が募金に協力していました。

卒園記念植樹



大きくなれと願いを込めて

感謝状を受け取る近藤会長(左)

おひさま保育園(清水節子園長)年長児による卒園記念植樹が6月7日、同園園庭で行われました。緑のふるさとづくりの一環として行ったものです。摩周建設業協会(近藤明会長)から弟子屈町緑化推進委員会に寄贈されたエゾヤマザクラ16本を植えました。また、同協会の近藤会長に、緑化推進委員会会長の徳永町長から感謝状が贈られました。

豊かな自然を守りたい 人と自然が共生する まちづくりのため

町の将来計画として策定された「第5次
弟子屈町総合計画」では、町の宝である自然
環境の保全と地域資源としての活用によっ
て、人と自然が共生するまちづくりを目指
しています。

2年前の東日本大震災・東京電力福島第一
原子力発電所の事故以来、全国的に自然再
生可能エネルギーなど新・省エネルギーの
開発・導入が進んでいます。町では震災
発生以前から、地球温暖化防止に向けた普
及啓発事業を重点施策として位置付け、地
域特性を生かした新エネルギー・省エネル
ギー導入の取り組みを進めてきました。

率先的な取り組みとしては、2011年
に改築した弟子屈中学校のエコスクール
化で、さまざまな省エネ技術に加え、自然再
生可能エネルギーである太陽光発電を導入

しています。今回、学校給食センターに導入
した雪氷冷熱も、この自然再生可能エネル
ギーの一つです。雪を利用して冷房熱源と
して利用する今回の取り組みはほとんど前
例がなく、技術的には最先端の設備です。

自然再生可能エネルギー利用の技術・設
備はまだまだ導入費用が高く、現段階では
経済性を見出せないことが多いのが現状で、
普及には時間がかかります。しかし、町では
教育の現場に率先的に導入し、環境・エネ
ルギー教材として活用することに大きな意義
があるものと考えています。

将来を担う子どもたちが、自然再生可能
エネルギーを実際に見て、触れて、身近に感
じながら成長していき、やがて地域全体に
「循環型社会」の意識が広まっていくことを
目指しています。

住宅用太陽光発電システム設置費補助金 7月1日から追加募集

町では、住宅用太陽光発電システムを設置する町民の方に補助金を交付しています。
今年度については既に定員に達していましたが、この度、下記の通り追加で補助金交付を行います。補助対象・補
助額など、詳しくはお問い合わせください。

▶申し込み方法／7月1日(月)から受け付けを開始します。7月8日(月)までに受付件数が定員を超えた場合は、7月
1日～8日受け付け分で抽選を行い、交付者を決定します。7月9日(火)以降の申請については予算の範囲内で随
時受け付け、先着順に交付決定します。

□申し込み・問い合わせ先／役場環境生活課環境係 ☎482-2934(課直通)まで。



木を育てる

石川 悟さん
(75歳・仁多)

酪農家
所有山林の管理と育成に日々精進
1994年から弟子屈町森林組合理事
今年、道の指導林家に認定された

酪農業の傍ら、所有する24・59畝
の山林を手入れする石川さん。初め
て植林を行ったのは、中学校を卒業
したころ。祖父と一緒にカラマツを
植林したそうです。以来、所有林に
足しげく通い、枝打ちをしたり、幹
に絡みつくブドウのつるを払った
り、大切に木を育ててきました。「手
をかけてあげれば、伸びも違いま
す」とカラマツを見上げます。そのそ
ばには、寒さに強いと選んで3年ほ
ど前に植林したアカエゾマツが、小
さな枝を広げていました。

「以前、木を切って草地にしたと
ころ、雨水の流れが速くなり、草地
が傷むようになりました。水を抑え
る木の力をあらためて感じました」
と石川さん。また、自宅裏の防風林
を伐採したところ風当たりが強く
なり、木が持つ暴風の機能を実感し
たこともあったそうです。こうして
木の大切さを知り、木に魅了されて
きた石川さんにとって、木を育てる

ことは「生きがい」だといいます。
「木はすぐには大きくなりません。
孫に伝えていくような気持ちで
ないと育てられません。地球温暖化
の原因となる温室効果ガス削減の
意味からも、木は1本でも多く育て
ていきたいと思っています。また、
1本でも多くの木を植えてほしい
とも思います。木を育てることは、
大げさなようですが地球を守るこ
ともあります」環境問題に関心の
ある石川さんは他にも、例えば古新
聞を出すときに、新聞と一緒にリサ
イクルできる紙製のひもを使うな
ど、小さな心掛けを重ねています。

「あれも私が植林したものです。
夏場にはあの木の下に子牛を放す
のですが、とてもいい木陰をつくっ
てくれて、子牛たちも涼しそうで
す」そうやって石川さんは、自宅裏で
葉を茂らせる3本の木を見せてく
れました。木の恩恵を知り、木と身
近に暮らす喜びがありました。



エネルギー を生み出す

阪口 正明さん
(50歳・奥春別)

酪農家
町内で初となる家畜排せつ物活用の
バイオガス発電プラントを建設
環境と臭気に配慮した酪農に取り組む

乳牛170頭を飼育する酪農家
の阪口さん。昨年10月、家畜排せつ
物を活用したバイオガス発電プラ
ントを敷地内に建設しました。この
プラントは、家畜排せつ物を発酵さ
せてバイオガスを生成し、電気と温
水に転換するもの。発酵後の消化液
は、臭気のない高品質な液
体肥料(液肥)として利用できます。

阪口さんがバイオガスプラント
に注目したのは、家畜排せつ物の臭
気対策のためでした。家畜排せつ物
は通常、堆肥化(固体の肥料にするこ
と)やスラリー処理(液体の肥料にする
こと)をして、有機質肥料として耕
作地へ散布・還元されます。資源循
環型の農業として環境負荷軽減に
役立ちますが、堆肥化やスラリー処
理、散布作業の際に強烈な臭気が発
生することがあり「周囲には別荘地
が多く、気を遣っていました」と阪口
さん。臭気軽減には家畜排せつ物を
無機化するしかないと考え、バイオガ

ス発電プラントへと行き着きます。
5年ほど前から考えていたとこ
ろで起きたのが、2011年の東日
本大震災。東京電力福島第一原子力
発電所の事故を見て「日本でのエネ
ルギーや電気に対する考え方が変
わっていく」と確信し、建設に踏み切
りました。

昨年11月から乳牛110頭分の
排せつ物を利用して発酵を始めて
いますが、阪口さんは「敷地内に家畜
排せつ物を置かずに済むのがいい」
と実感を含みます。発酵後の消化液
も、液肥として散布してもほとんど
臭気がしないそう。電力は全量を売
電しているほか、温水は牛舎などで
利用し、現在は灯油を一切使って
いないそうです。

阪口さんは「電気と温水は最終工
ネルギー。まちの基幹産業である農
業と観光の振興という側面からも、
バイオガス発電は有効だと思っ
ています」と話していました。

「少年の主張」弟子屈大会

平成25年度第33回「少年の主張」弟子屈大会が5月26日に弟子屈町公民館で開催され町内各小中学校の児童生徒の代表が、目で見えて感じたことや体験して思ったことなどを、会場に訪れた多くの方々語りかけました。最優秀賞には小学生の部で坂上 愛美 さん(弟子屈小学校6年)、中学生の部で濱岡 日菜 さん(川湯中学校3年)が、それぞれ選ばれました。中学生の部最優秀賞の濱岡さんは7月30日に釧路市生涯学習センターで開催される「少年の主張釧路総合振興局地区大会」に出場します。

中学生の部 最優秀賞



互いに生きる
川湯中学校3年
濱岡 日菜 さん

やってみせて、言ってみせて、やらせてみる。ほめてやらねば人は動かじ。話し合い、耳をかたむけ、承認し、任せやらねば、人は育たず。 やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。 人は一人では生きていけない。私は強くそう思います。とあるいつかのテレビ番組で、一人の祖父を亡くし、非行に走ってしまった、という内容のドラマが放送されていました。その祖父とは、寂しい気持ちを抱いている少年を支える唯一の存在でした。結果は学校の先生が気持ちを理解して、その少年を非行に走らせず救い出すことができました。私はこの話が人ごとではないと思いつつ、私には「孤独死」「自殺」、これも人ごとではないのです。 これら全てに関係するのは「一人」ということです。一人だから心のよりどころがないため非行に走った。一人だから誰にも看とられずひっそりと死んでいってしまった。一人だから自分を追いつめ

気持ちわいてきたのです。だんだん期待されていくうちに励ましてくれる人が増えて、良い結果を残せていけるようになりました。期待をされるとまず一人ではなく、自分を認めてくれる人がいるという実感をもてます。この期待への励ましを受けると応援されているから頑張ろう。期待に応えてみようと思つて、

かえこまず、上へ向くことができます。そして、それが続き成功していくうちに自分の本領を発揮できていたり、それを信頼してくれる人が周りに自然と集まってきたりと、良い方向へ良い方向へと進んでいくのです。 「一人だから」と起きる問題への解決法は私は「期待」と「励まし」だと思います。 逆に、期待が重すぎてかえこまずという考えもあるかもしれません。「貴方なら絶対できる。」「期待しているよ。」「この言葉に重圧を感じてしまう人はいませんか。やったことのないことに対して期待を一人で背負いこむと、重いと感じるのではありません。だから、このような期待は思いや気持ちを共有して、人と関わり励ましあつていくのがよいと思います。 私のような小さな意見では世の中の大きな一つの問題を解決していくことは難しいかもしれません。でも、一人ひとりが意識して、他人の良いところを見つけて期待をすることはできるのではないのでしょうか。そして素直にそれを素晴らしいと思つて「頑張つて。」と声をかけることだって難しくありません。ただやらないだけなのです。このような本当に小さなことでも、きつとされた人はうれしい気持ちになるはず。だから、私も私はいれなくも思いません。だから、これから私は、少しずつ少しずつ関わりのある人、もしくはない人でも良いところを見つけて、期待をしていきたいです。 やっている姿を感謝で見守って信頼

小学生の部 最優秀賞



大好きな家族から
学んだこと
弟子屈小学校6年
坂上 愛美 さん

みなさんは、家族の人から何か学んだことは、ありますか？私は父と母からとても大切なことを教わりました。それは、「私一人では生きてはいけない」ということです。 ある時、父と母に「人の気持ちを分ける人になりなさい」と言われたことがありました。その時の私はなぜそんなことを言われなくちゃいけないのかが全然分かりませんでした。 四年生の頃の私は、相手の気持ちを考えず、自分のことばかりを考えていました。ウソをついたとかついてないとか、やらんだとかにらんでいないとか、友だちとケンカばかりしていました。気がついたら自分はひとりぼっちになっていました。「友だちなんていなくてもいいや」と思うようになりました。学校も楽しくなくなり、行きたくないと思うようになり、でも、五年生になったら新しいクラスになる、やっぱり友だちがほしい。楽しく学校に行きたいと思うようになっていきました。 五年生になって、自分を守るためのウ

ソは言わない、言い方を気をつける、そして何より相手の気持ちを考えるようにしました。五年生の運動会が終わった頃から、友だちに話しかけられるようになり、友だちから「性格明るくなったね」と言われるようになりました。とてもうれしかったです。今では友だちがいっぱいで、毎日がとても楽しいです。 そして、友だちの大切さを感じたのが、五年生の最後に行った学級レクです。担任の先生への感謝の気持ちを伝えようと、クラスのみんなで学級レクを企画しました。でも先生に内緒でレクの準備をしているときに、練習の量が多いと不満が出て、もめたことがありました。学級代表だった私は、このままではいけないと思ひ、クラスで話し合いをしました。何のための学級レクなのか、みんなが話し合いました。いつも先生からは、目標に向かって頑張ることの大切さを教えられてきました。先生に感謝の気持ちを伝える事が学級レクの目標なんだと、みんなで確認できることができました。学級レク当日、クラスのみんなが肩を組んで先生に歌ったときに、私は最高のクラスだと思ひました。先生はみんなの思いが伝わったのか、みんなの歌を聞いて泣いていました。私一人の力では、あんな素敵なレクを行うことができなかったと思ひます。みんながいるから、最高のレクを行うことができましたのだと思ひます。

中学生の部 審査結果(敬称略)

- 最優秀賞「互いに生きる」(川湯中3年 濱岡 日菜)
- 優秀賞「観光客増加への道」(弟子屈中3年 原 朱里)
- 優良賞「ふるさと弟子屈を伝えたい」(弟子屈中3年 坂東 もみじ)
- 奨励賞「できることを」(弟子屈中2年 高橋 志歩)
- 奨励賞「たくさんの人との関わりの中で」(弟子屈中1年 河上 綾花)
- 奨励賞「大切な時間」(弟子屈中2年 古川 出海)
- 奨励賞「守りたいこの町」(弟子屈中1年 西田 愛梨)
- 奨励賞「私の中学校生活」(川湯中1年 佐伯 雛)



少年の主張弟子屈大会

小学生の部 審査結果(敬称略)

- 最優秀賞「大好きな家族から学んだこと」(弟子屈小6年 坂上 愛美)
- 優秀賞「児童会長になったら」(美留和小5年 阿部 宏紀)
- 優良賞「TPPとぼくたちの生活」(和琴小6年 高橋 真人)
- 奨励賞「失敗」(弟子屈小6年 山家 裕樹)
- 奨励賞「もっとお米を食べよう」(昭栄小6年 森内 ひなの)
- 奨励賞「野生生物と生きる」(川湯小6年 戸田 大地)
- 奨励賞「僕の将来の夢」(奥春別小6年 坪井 謙和)



少年の主張弟子屈大会

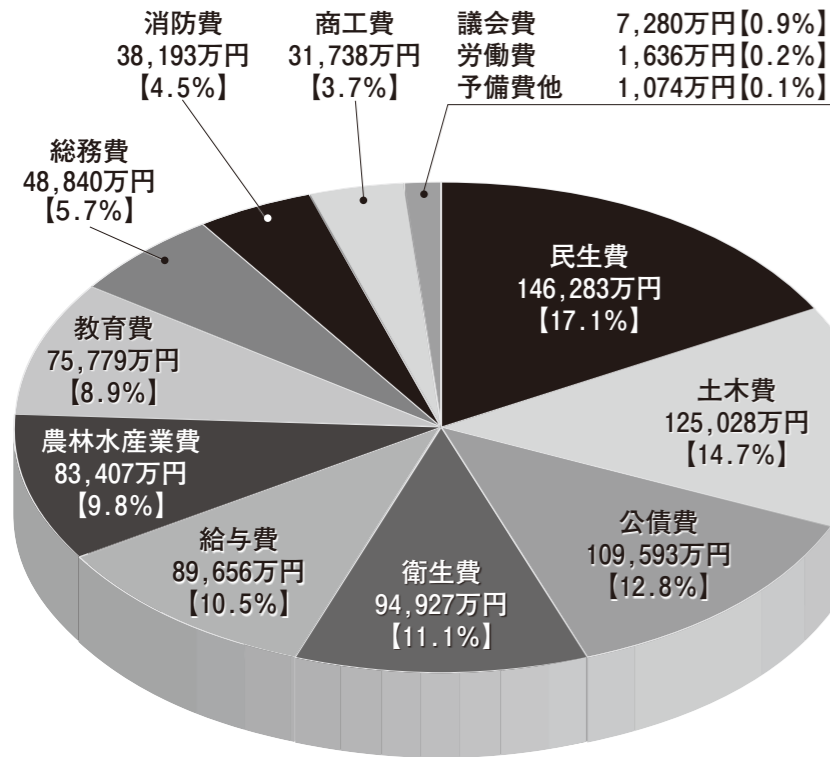
だから、父と母に、「一人で生きていけないと思つたら大間違いだ」と言われたとき、今の私がいるのはみんなのおかげだと、心から感謝することができました。 私は家族から学んだ多くの事を、これからの自分に絶対生かしていきたいと思つています。そして自分の名前の通り、みんなに愛されて、心の美しい人になりたいと思つています。絶対になりませんが、みなさん、これからの私を応援して下さい。

平成24年度 弟子屈町財政の状況

●財政状況に関するお問い合わせは
役場まちづくり政策課財政係 ☎482-2913 (課直通)

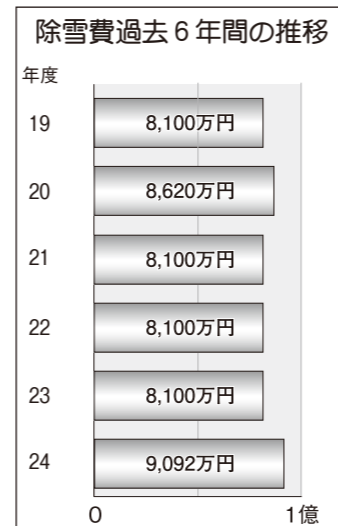
一般会計歳出

最終予算総額 85億3,434万円(平成23年度 78億5,700万円)



■除雪費の推移

除雪費は平成23年度に比べ、992万円の増となりました。平成24年度は大雪のため、例年に比べ増額となりました。
(国からの補助金450万円)

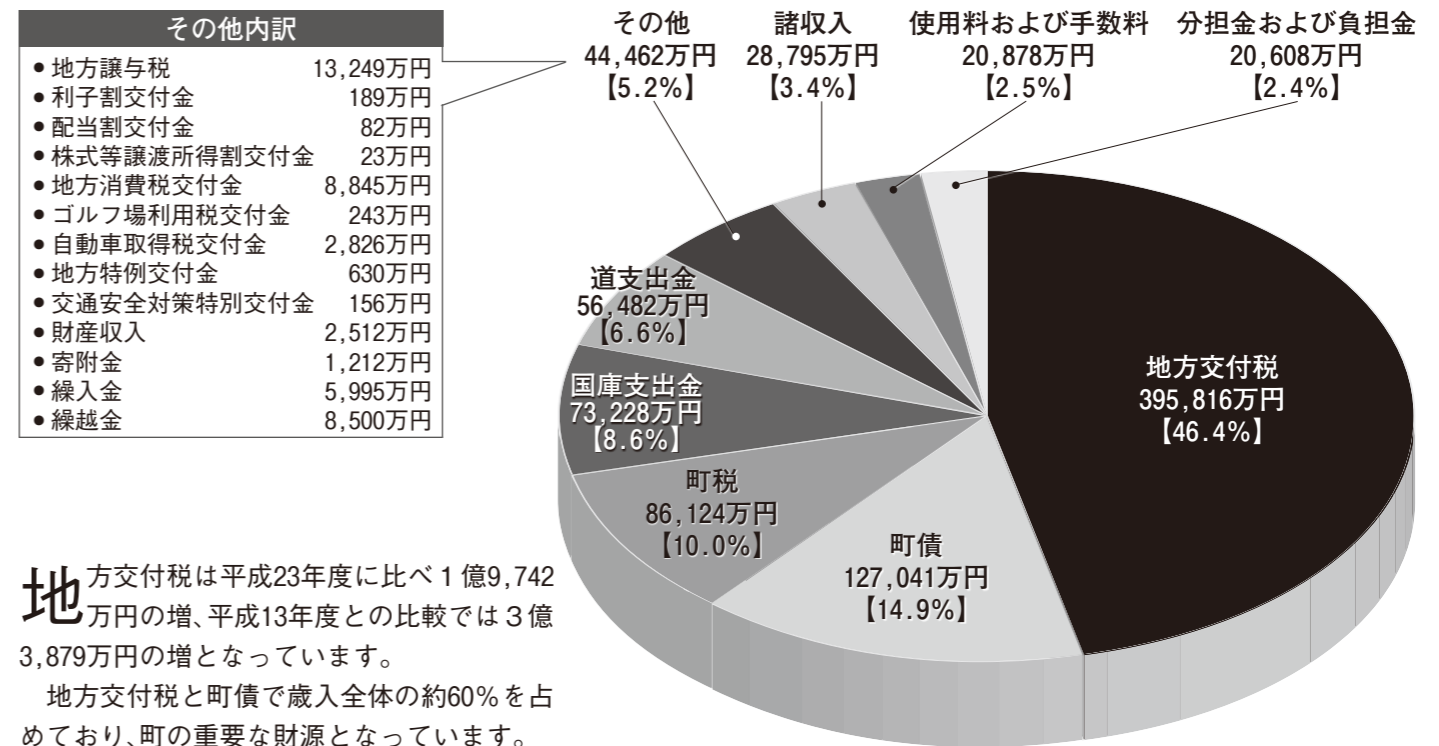


補正予算 下半期(10月～3月)に補正した主な事務事業

摩周パイロット線改良事業	1億4,020万円
非常用電源導入事業	1,717万円
跡佐登65号線防雪柵新設事業	4,410万円
奥春別団地線道路改良事業	5,010万円
道路等長寿命化事業	200万円
まちづくり整備事業(弟子屈中学校外構整備、釧路川遊歩道整備、防災備蓄倉庫耐震改修工事)	7,223万円
公営住宅建替事業(泉ヶ丘団地公営住宅建替工事ほか)	1億6,030万円
小学校耐震化事業(和琴小学校・奥春別小学校防災機能強化改修工事)	1億9,823万円

一般会計歳入

最終予算総額 85億3,434万円(平成23年度 78億5,700万円)



地方交付税は平成23年度に比べ1億9,742万円の増、平成13年度との比較では3億3,879万円の増となっています。

地方交付税と町債で歳入全体の約60%を占めており、町の重要な財源となっています。

サマージャンボ 7月10日発売開始

2つのサマーで ワンジョイ! ワンジョイ!

5億円 2000円 450本

7月10日(水) 発売開始 発売期間: 7月10日(水)～8月2日(金)

抽選日/ 8月13日(火)

お問い合わせ先/ 役場まちづくり政策課財政係 ☎482-2913(課直通)まで。

※宝くじの収益金は明るく住みよいまちづくりに使われます。

一般会計の歳出を町民一人当たり換算すると...

給与費(職員の給料・手当などに)	111,700円
土木費(道路・住宅の整備や除雪などに)	155,800円
公債費(借金の返済に)	136,600円
教育費(学校教育・生涯学習の推進などに)	94,400円
衛生費(医療の充実やごみ処理などに)	118,300円
民生費(福祉の充実などに)	182,300円
消防費(消防などに)	47,600円
総務費(全体的な計画や事務などに)	60,900円
農林水産業費(農林水産業の振興などに)	103,900円
商工費(観光・商工業の振興などに)	39,500円
議会費(議会などに)	9,100円
諸支出金・労働費・予備費・災害復旧費(財産の取得・災害の復旧・その他)	3,400円
合計すると	1,063,500円

※平成25年3月末現在の人口(8,025人)で計算。

分かりますか? 財政用語

- ▼一般会計/行政運営の基本的な経費を計上した会計
- ▼特別会計/特定の歳入歳出を処理するための会計
- ▼地方交付税/各市町村が等しく行うべき事務ができるように国から交付されるお金の会計
- ▼地方譲与税/国が国税として徴収を代行しているもの(地方道路譲与税、自動車重量譲与税など)を市町村に一律で配分するお金の会計
- ▼国庫・道支出金/特定の目的に対して国や道から交付されるお金の会計
- ▼交付金/行政上の必要性により国から交付されるお金の(地方消費税交付金、自動車取得税交付金など)
- ▼分担金・負担金/町が行う事業により、特定の利益を受ける人から徴収するお金の(保育料、下水道受益者負担金など)
- ▼繰入金/他の会計や基金(特定の目的のために積み立てたお金)から繰り入れたお金の(元金償還額/町債に対する返済額から利息分を差し引いた金額)

平成24年度 弟子屈町財政の状況

各特別会計・水道事業会計(企業)

最終予算内訳

(単位:万円)

区分	24年度			23年度	比較		
	当 予 算 額	上 半 期 に お け る 補 正 額	下 半 期 に お け る 補 正 額	最 終 予 算 額 (A)	最 終 予 算 額 (B)	(A-B)	増 減 率 (%)
国民健康保険特別会計	114,181	2,337	12,483	129,001	122,733	6,268	5.1
介護保険特別会計	72,649	623	1,303	74,575	71,970	2,605	3.6
後期高齢者医療特別会計	9,439	0	△69	9,370	9,100	270	3.0
温泉事業特別会計	5,598	0	286	5,884	6,231	△347	△5.6
下水道事業特別会計	35,547	336	323	36,206	40,359	△4,153	△10.3
計	237,414	3,296	14,326	255,036	250,393	4,643	1.9
水道事業会計(企業)	28,628	△80	1,904	30,452	26,808	3,644	13.6

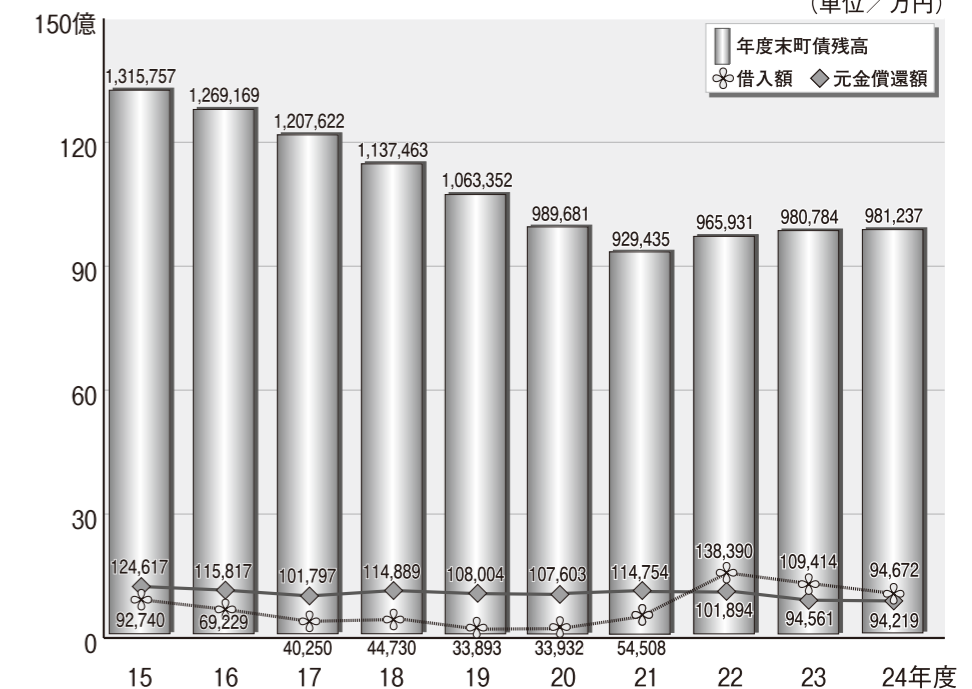
5つの特別会計の最終予算額は25億5,036万円で、平成23年度と比較すると額で4,643万円、率で1.9%の増となりました。

医療費などの増加に伴い、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療特別会計では増加となりましたが、温泉事業・下水道事業特別会計では減額となっています。

また、水道事業会計(企業)の最終予算総額は3億452万円で、平成23年度と比較すると額で3,644万円、率で13.6%の増となっています。

町債の借入額と残高の推移

(単位/万円)



町債とは、国や金融機関などといった第三者から資金を借り入れるもので、長期にわたって償還(返済)しなければならない町の借金です。

町では、公共施設の建設事業を行う場合などに町債を借りて事業の推進を図っています。平成24年度の町債の借入額は9億4,672万円で、残高は98億1,237万円となっています。

なお、町債の残高全てが町の負担となるわけではなく、償還した元金と利息の約60%が、町の収入の大部分を占める地方交付税の中に含まれて戻ってくることとなります。

第23回参議院議員通常選挙

投票日/7月21日(日) 午前7時~午後8時 (6月25日現在予定)

第23回参議院議員通常選挙が、7月21日(日)に行われます。本町ではこれまでと同様に、町内15カ所の投票所で、午前7時から午後8時まで投票できます。投票日には、参議院議員通常選挙入場券(はがき)を必ず持参し、入場券に記載された投票所で投票を行うってください。

投票日に投票できない方は、期日前投票制度などを利用して投票することができます。

◇期日前投票制度
投票日の前であっても投票日と同様に、投票用紙を直接、投票箱に投函することができます。

▼投票期間選挙区・比例代表
7月5日(金)~7月20日(土)まで。

▼投票時間/午前8時30分~午後8時
投票場所/期日前投票所



あなたの大切な一票を決して無駄にしないで

問合わせ先/弟子屈町選挙管理委員会(役場内) ☎ 482-2191(内線440)まで。

市民後見人養成講座事前セミナーのご案内

市民後見人養成講座事前セミナーを次の通り開催します。10月開始予定の市民後見人養成講座に参加を希望する方の事前セミナーですが、セミナーの出席が養成講座受講の条件となっているものではありません。

- ▶日時/7月24日(水) 15時30分~17時45分
- ▶場所/標茶町総合社会福祉センター(標茶町川上10丁目1番地)
- ▶講師/北海道市民後見推進コンソーシアム
- ▶申込締切日/7月17日(水)

後見制度とは

精神上の障がい(認知症・知的障がい・精神障がいなど)により、判断能力が欠けているのが通常の状態にある方を保護・支援するための制度です。家庭裁判所が選任した成年後見人が、本人の利益を考えながら本人を代理して契約を行ったり、不利益な法律行為を取り消したりすることができる制度です。

市民後見人とは

本来は親族、もしくは弁護士や司法書士など専門の知識を持った方が成年後見人として選任されます。親族や専門家が近くにいない場合は、市民後見人養成講座などにより養成され、かつ家庭裁判所に登録された、同じ地域に住む方が、後見人としての法律行為を行います。

市民後見人養成講座受講資格

- ①満25歳以上の方
- ②弟子屈町民、もしくは弟子屈町内の事業所に勤務している方
- ③これまでに未成年後見人、成年後見人、保佐人、補助人を解任されたことのない方
- ④破産していない方

※受講料は事前セミナー・養成講座ともに無料です。
※市民後見人養成講座の募集は後日あらためて行います。

問い合わせ先/役場福祉こども課社会福祉係 ☎ 482-2921(課直通)

この夏も引き続き 無理のない範囲で節電を

昨年の夏は皆様のご協力により、電力不足や大規模停電にならずに済みました。役場でも昨年は、7月と8月の2カ月間で一昨年比-12.61%の節電をしました。

今年は電力供給力が強化され、昨年並みの使用量であれば10%程度の余裕を確保できる見通しとなり、国では節電の数値目標を設定していません。しかし、皆さんが電気を大量に使用したり発電所が故障したりした場合には、電力不足になる可能性もあります。

今年の夏もご家庭や事業所などで、家計にも環境にも優しい節電に取り組んでみませんか。

▶特に節電をお願いしたい期間

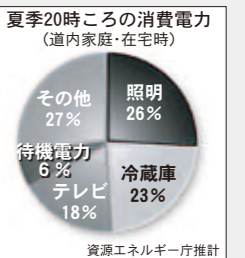
7月1日(月)～9月30日(月)(お盆期間「8月13日(火)～15日(木)」を除く)の平日9時～20時

▶ポイント

道内では夏季、日中から夕方長い時間帯で電気使用のピークが続くのが特徴です。そのため、節電をお願いする時間帯も9時～20時となっています。

▶節電メニュー

右のグラフは、道内家庭の夏の消費電力(20時ころ)の内訳を表したものです。照明・冷蔵庫・テレビで約7割を占めます。普段よく使う電気製品を中心に節電に取り組むことが有効です。ご家庭でできる節電メニューを紹介しますので、参考にしてみてください。



- 照明**
 - 不要な照明をできるだけ消す。
 - 照明のかさやカバーをこまめに掃除する。
- テレビ**
 - 画面の明るさを下げる。
 - 必要な時以外は消す。
- パソコン**
 - 省電力設定を活用する。
- 掃除機**
 - 9時～20時の使用をできるだけ避ける。
 - 部屋の整理整頓をしてからかける。
 - 集じんパックを適宜取り替える。
- 待機電力**
 - リモコンではなく、本体の主電源を切る。
 - 長時間使わない機器は、プラグをコンセントから抜く。
- 冷蔵庫**
 - 設定を「弱」など控えめにする。
 - 扉を開ける時間をできるだけ減らす。
 - 食品を詰め込み過ぎないようにする。
- 炊飯器**
 - 早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。
- ポット**
 - 長時間使わないときは、プラグをコンセントから抜く。
 - 保温を避け、必要なときに再沸騰させる。
- 温水洗浄便座**
 - 便座保温・温水の設定温度を下げ、使わないときはふたを閉める。
- 洗濯機**
 - 9時～20時の使用をできるだけ避ける。
 - 容量の8割を目安に、まとめ洗いをする。
- エアコン**
 - 室温を28℃に設定する。
 - フィルターを定期的(2週間に1回程度)に掃除する。
 - エアコンをやめて扇風機を使う。

※詳しくは、北海道電力のホームページ(<http://www.hepco.co.jp/>)でもご確認いただけます。

問い合わせ先/役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

誰もが自慢し、誰もが誇れる町へ

えこまち推進協議会が定期総会

てしかがえこまち推進協議会会長・徳永町長の定期総会が5月31日、町公民館で開催されました。会員など約30人が出席し、平成24年度事業決算報告と平成25年度事業計画の提案が行われました。

初めに来賓が祝辞。北海道釧路総合振興局産業振興部の井内寛二部長は「情熱と知恵を出し合い、常に先進的な活動を行っている。今後も大いに期待している」と山田博町議会副議長は「協議会の熱い思いで少しずつ古い殻を破り、町の活性化につなげていってほしい」と述べました。平成24年度の事業報告では、70回に及ぶ各専門部会の開催状況や「全国エコツアーリズム大会」の弟子屈開催をはじめ、「MADE in てしかが」第2号(摩周そば

特集)の発刊、「てしかがアートフェスティバル事業」など、さまざまな取り組みが報告されました。平成25年度は、環境変化への対応を踏まえつつ、地域の発展に寄与すべく、構成団体や他の組織との連携強化、地域づくり団体として協議会活動や各専門部会の活性化を推し進め「誰もが自慢し、誰もが誇れる町」を目指して取り組むとしています。

新年度の活動に向けて、各専門部会長からは「より多くの人への情報発信の必要性」「意見やアドバイスの機会を通じてより良い活動へ」「専門部会員の充実強化」など積極的な発言が行われました。本町のまちづくりアドバイザー・山田桂一郎さんは「この協議会の応援団は日本各地から集まっています。ともに歩みたいと思っています。これまで以上に大きな活動にしていきたい」とエールを送りました。

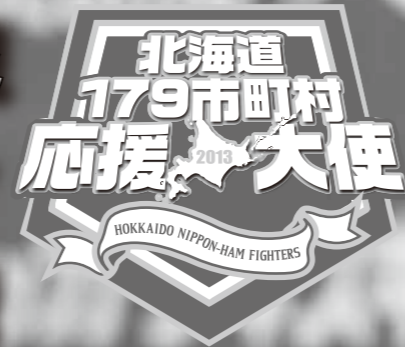
提案された各議案については、審議の結果、その全てについて全会一致で承認され、閉会しました。

□問い合わせ先/役場観光商工課 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)まで。



活発な意見交換が行われた総会(上・下とも)

ファイターズ戦 観戦チケット 当選者決定!



広報てしかが6月号で募集した、札幌ドームでの北海道日本ハムファイターズ戦観戦チケットプレゼントに、63組125人の応募がありました。

先日、抽選会を行い、100人の当選者が決まりました。当選された方には7月1日付でご案内していますので、お知らせします。

たくさんのご応募、ありがとうございました。

□問い合わせ先

役場まちづくり政策課政策調整係
☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)まで。



徳永町長が抽選を行いました

弟子屈町応援大使・谷元圭介投手

野菜をもお〜っと食べましょう!

お手軽野菜料理レシピ

何でも食べられる子にしましょう

皆さんは苦手な食べられない食品などはありますか?

日頃何気なくとっている食事ですが、私たちの食事の内容や好みなどの習慣は、子どものころの食体験が基になってつくられています。子どもは親から食事を与えられるため、親の食習慣が子どもの食習慣へ大きく影響します。食経験の少ない小さなうちは、食べ慣れないものを嫌がったりしますが、嫌がる食品を無理強いはいよくないと食事が出さなかったり、子どもの分だけ別に作ったりすると、子どもがその食品を食べる機会を失ってしまったり、偏食を助長することにもつながります。野菜が苦手な食べなかったり、好きなものばかり食べるという習慣を長年続けることで、成人になってからの生活習慣病(高血圧・糖尿病・脂質異常症など)になるリスクも高くなります。

お子さんやお孫さんを将来の生活習慣病のリスクから遠ざけてあげるためにも、小さなころから子どもに合ったいろいろな食品を食べる機会を増やしてあげてはいかがでしょうか。

▶生活習慣病を予防するための食事の工夫

- いろいろな料理で、いろいろな味付けにする。(和食、洋食、中華など。味は薄くしましょう)
- 好きな食べ物ばかり食べさせないようにする。
- 一緒に食べる大人がおいしそうに食べて見せる。
- 1日3回の食事を基本に、間食を上手に組み合わせる。
- なるべくいろいろな食品を使ってみる。(1回の食事に少なくとも5種類は使ってみる)
- 毎回の食事に野菜を使った料理を組み合わせる。
- ジュースやお菓子などが多くならないようにする。

肉みそうどん

【材料(大人2人分、子どもだと3~4人分)】

- うどん(乾めん) 160g
- 豚ひき肉 150g
- 玉ネギ 1/2個
- 長ネギ 10cm
- ピーマン 2個
- 油 少々
- みそ 大さじ1弱
- 砂糖 小さじ1弱
- だし汁 1/3カップ
- でんぷん 適量

【作り方】

- ①うどんは好みのかたさにゆでて冷ます。(温かくしてもよい)
 - ②野菜はみじん切りにする。熱した鍋に油を入れてひき肉を炒め、色が変わった野菜を加えしんなりするまで炒める。だし汁と調味料を入れて煮、水で溶いたでんぷんでとろみをつける。
 - ③皿に盛り付けた①に②をかける。
- ※和風ミートソース風です。うどんのほかに、スパゲティやラーメンにかけてもおいしいです。

野菜たっぷりスープ

【材料(大人2人分、子どもだと3~4人分)】

- ジャガイモ 大1個

- 玉ネギ 1/2個
- ニンジン 3cm
- 生シイタケ 1個
- キャベツ 1枚
- スライスベーコン 1枚
- 水 適量
- 固形コンソメ 1~2個
- 塩・こしょう 少々
- 小ネギ 2~3本

【作り方】

- ①野菜は大きめの一口大、ベーコンは1cm幅くらいに切る。
- ②鍋に水と①を入れて、柔らかくなるまで煮る。煮えたらコンソメと塩・こしょうで味付けする。
- ③②を器に盛りつけ、小口切りの小ネギを散らす。

調理実習のお知らせ!

- ▶内容/そばずし
 - ▶日時/7月23日(火) 10時~13時ころ
 - ▶場所/川湯ふるさと館
 - ▶定員/12人
 - ▶参加費/500円
 - ▶持ち物/エプロン、三角巾、巻きす
 - ▶申し込み締め切り/7月19日(金)
 - 申し込み・問い合わせ先/健康推進課健康推進係(栄養士) ☎482-2935(課直通)まで。
- ※調理実習やレシピのことでご意見などありましたら、栄養士までご連絡ください。

問い合わせ先/役場健康推進課健康推進係 ☎482-2935(課直通)

後期高齢者医療制度のお知らせ

保険証の一齐更新について

●保険証が新しくなります

現在ご使用の保険証は、平成25年7月31日をもって有効期限が満了となるため、8月以降は使用できなくなります。

7月15日ごろに新しい保険証を発送しますので、お手元に届きましたら、古い保険証ははさみで切るなど、個人情報が出ることのないよう破棄してください。

新しい保険証の有効期限は、平成26年7月31日までです。
新しい保険証はピンク色です。

また、保険証を紛失したときや汚れたときは再交付しますので、お申し出ください。

後期高齢者医療被保険者証	
有効期限 平成26年 7月31日	
被保険者番号	01234567
被保険者住所	広城市連合町1丁目
被保険者氏名	広城 太郎 男
生年月日	昭和 7年 7月 7日
資格取得年月日	平成20年 4月 1日
発効期日	平成20年 4月 1日
交付年月日	平成25年 7月 1日
一部負担金の割合	1割
保険者番号並びに保険者の名称及び印	39011010 公印(朱) 北海道後期高齢者医療広域連合

●減額認定証(限度額適用・標準負担額減額認定証)も新しくなります

減額認定証は、住民税非課税世帯の方が病院にかかった際の医療費や、入院した際の食事代などの自己負担限度額を軽減するために必要な証です。

現在ご使用の減額認定証は、平成25年7月31日をもって有効期限が満了となるため、8月以降は使用できなくなります。引き続き交付の対象となる方には、保険証と一緒に新しい減額認定証を発送します。お手元に届きましたら、古い減額認定証は保険証と同様の方法で破棄してください。

新しい減額認定証は水色です。

▶減額認定証の交付対象となるのは、次の方です。

区分Ⅱ	世帯全員が住民税非課税である方。
区分Ⅰ	世帯全員が住民税非課税である方のうち、次のいずれかに該当する方。 <ul style="list-style-type: none"> • 世帯全員の所得が0円の方。(公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下の方) • 老齢福祉年金を受給されている方。

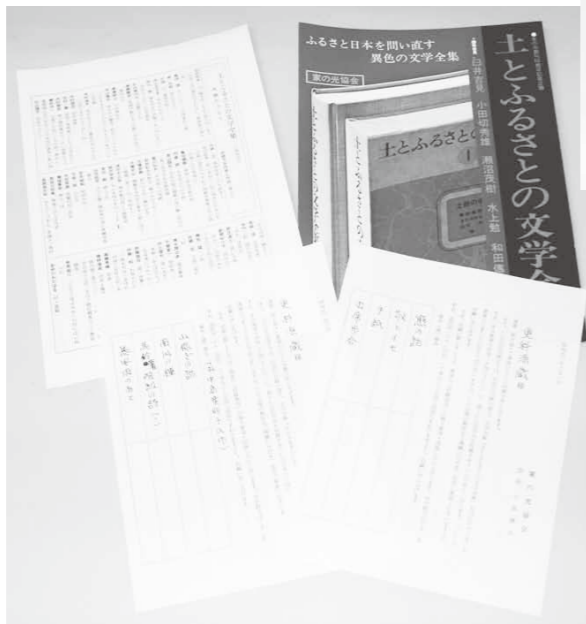
後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証	
交付年月日 平成25年 8月 1日	
被保険者番号	01234567
被保険者住所	広城市連合町1丁目
被保険者氏名	後期 一郎 男
生年月日	昭和 7年 7月 7日
発効期日	平成25年 8月 1日
有効期限	平成26年 7月31日
適用区分	区分Ⅱ
長期入院該当年月日	平成25年 8月 1日 保険者印 印
保険者番号並びに保険者の名称及び印	39011010 公印(朱) 北海道後期高齢者医療広域連合

問い合わせ先/役場健康推進課健康保険係 ☎482-2935(課直通)



更科源蔵(さらしなげんぞう)
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動が続けた。
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。

著書の検印などに使っていた自作のエゾシカ印



出版元から送られてきた資料(上)
更科と葉那子の詩を掲載する許諾願い(下)



『土とふるさとの文学全集-14巻』

市民と言われ都会に住む人たちの多くは農山漁村の出身です。その人たちに、土着の思想と帰郷を願って編さんされた『土とふるさとの文学全集』があります。農民文学を網羅し、全15巻からなるこの全集は、1976(昭和51)年から1977(昭和52)年に編さんされました。その第14巻は「大地にうたう」と題した詩のアンソロジー(選集)です。

この巻には、更科の詩「敬とイモ」「熊の話」「出席歩合」「手紙」の4点と、更科の妻・中島葉那子の詩「暴風雨のあと」「出稼ぎの話」「南瓜の種」の3点が収められています。作品は、更科夫婦が弟子屈市街で印刷屋や熊牛原野で牛飼いをしていたころの昭和初期に詩作したものです。

この巻の付録の「月報」に更科は、「書くということ」という一文を寄せています。そこには、

開拓に押しつぶされるように亡くなった家内中島葉那子は、私よりも作品はすぐれていた。思想的にも尖鋭であったが、長女が生まれると同時にものを書かなくなり、こっそりかくれるようにして何かを書いている私をなじるように「そんなこともう少し余裕ができてからでもいいでしょう」と批評するようになった。それは私が特高警察のために何度か連れて行かれるので、子供を育てるといっ

ちなみにこの巻には、1932(昭和7)年、父母と姉と共に美留和原野に入地し、後に詩人として活躍した風山瑕生(本名・安田博)の「讃歌・母の歌」「号泣の前」「仮泊の夜」やさやかな政治論の4点の詩が収録されています。安田博は、弟子屈尋常小学校高等科を経て旭川師範学校講習科へ進み、教員資格を得て母校の国民学校に赴任しています。

の本能から、開拓生活の不安がそう言わしめたようである。(略)

葉那子の書く詩には、貧しいながらも男が夢を追う姿に女が見る現実、自然や社会制度が日々の暮らしを襲う不条理を直線的な表現で綴る作品があります。更科は文の最後に

せめて父が死の直前まで土に生きたように、下手くそな詩を堂々と書きつづけた。もう誰も一銭にもならない詩を書いて叱る人がいなくなったから。



図書館だより

中央2丁目4番1号
☎(よいほんいろいろ) 482-1616

☆古雑誌をお譲りします

保存期間が過ぎた雑誌を提供します。図書館では、定期購読している雑誌の保存期間を3年間としています。3年を経過したものは処分となりますので、今回は2010(平成22)年6月号までの雑誌が対象です。先着順とし、なくなり次第終了とします。

※お一人3冊までを目安にお選びください。

※取り置きのご希望にはお応えできませんので、ご了承ください。

▼提供期間/7月2日(火)から対象の雑誌がなくなるまで。

▼場所/図書館内・特集展示コーナー

☆図書館からのお願い

図書館の本の貸出期間は2週間までとなっておりますが、期限を過ぎても返却されない方が増えています。予約が入っていない場合、貸出期間を一度延長することができますので、図書館へご連絡ください。次に予約が入っている場合は延長できませんので、ご注意ください。

新刊案内

- 「93番目のキミ」 山田 悠介/著
 - 「見上げた空の色 ウエザリポート」 宇江佐真理/著
 - 「悪魔の取引」 アンドレアス・ロイズ/著
 - 「おばあちゃんのオシャレ採集」 堀川 波/著
 - 「きちんと可愛い女の子服」 荒木 由紀/著
 - 「natural 盆栽」 加藤 文子/著
 - 「負けを生かす技術」 為末 大/著
 - 「葬儀・法事のあいさつ実例事典」 生活ネットワーク研究会/著
 - 「ランドセルは海を越えて」 堀内タケシ/著
 - 「からすのおかしやさん」 かこさとし/著
- たくさんのお楽しみが待っています!

ランチのアッコちゃん

楠木 麻子/著
屈託を抱えるOLの三智子。彼女のランチタイムは1週間、有能な上司「アッコ女史」の指令のもとに置かれた。表題作のほか、前向きで軽妙洒落、料理の描写でヨダレが出そうになる、読んでおいしい短編集。

おすすめの新刊

自然ふれあい行事 参加者募集中!

自然界でもいろいろな“事件”が起きています。外来生物の侵入もその一つ。でも、持ち込んだのは人間です。ただ駆除するだけでなく、いきさつもおきましょう。

- 〈川湯から外来種をなくそう〉
- ▶期日/7月7日(日)
- ▶集合・解散場所/当センター
- ▶参加費/300円(保険代)
- ▶定員/15人(先着順)

※申し込み・問い合わせは電話で受け付けます。ホームページ(http://www6.marimo.or.jp/k_emc/)もご覧ください。



外来植物駆除の様子

EMC通信

～川湯の森から～

川湯EMCは、さまざまな方に自然の中で楽しんでほしいと願っています。そんな思いが少しずつカタチになっている



ベビーベッドや畳で小さなお子さんも安心

は、おもちゃで遊んだりしててください。

できるだけ多くの方が利用しやすい施設に

公園の地形を表している立体模型を指でなぞったり、ヒグマやエゾシカの剥製に触ったりしてみてください。また、アウトドア用の車椅子1台をご用意しています。つづいて原自然探勝路はイソツツジテラスまでバリアフリー整備がされていますので、足の不自由な方でも森林浴をお楽しみいただけます。

◆外国人の方には
スタッフが手作りした英語版のホームページや館内パンフレットをご用意しています。常設展示は日本語と英語を並記し、映像は英語、韓国語、中国語に対応。英語が苦手なスタッフは、精いっぱいポディランゲージを駆使します。

このほか、おもつ交換台や手すりのついた多目的トイレを設置。休憩空間としても、お気軽にご利用ください。もれなくスタッフの笑顔も付いてきます!

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎483-4100
7月は8:00~17:00開館(無休)

弟高生が全道大会出場



全道大会出場を報告する弟子屈高校の選手たち

弟子屈高等学校
テニス部
バドミントン部
陸上部
柔道の総勢
23人が、
北海道高等学校選
手権大会

への出場を決めました。

大会は、テニス部が6月12日～14日に旭川市、バドミントン部が6月12日～15日に釧路市、陸上部が6月18日～21日に函館市、柔道が6月19日～21日に帯広市でそれぞれ行われ、上位進出を目指して出場しました。出場選手は次のとおりです。

(敬称略)

- ▼テニス部 / 伊藤幸樹、藤江葉月、坂東糸、豊島ありす(以上3年)、岡田春弥、阪口あいか、松橋わか(以上2年)、藤江弥生、辻早織、杉山明日香(以上1年)
- ▼バドミントン部 / 川本拓矢、二本松椋太、大関祐樹、今井玄(以上2年)、松田幹哉、瀬原健太(以上1年)
- ▼陸上部 / 小山内隼人、金川竜佑、佐藤優太(以上3年)、西田健修、中島知明、濱岡浩平(以上1年)
- ▼柔道 / 館岡ジュンブライアン(1年)

生涯学習だより

発行 / 弟子屈町生涯学習推進本部
事務局 / 教育委員会社会教育課 ☎482-2948(課直通)

ふるさと講座 「文学碑巡り」参加者募集

弟子屈町にはたくさんの方々の文学碑が点在しています。かつて、多くの文化人たちが本町を訪れた折、摩周湖や屈斜路湖など美しい景勝に感動し、作品を残しています。文化人たちの足跡と文学の風情を、ゆつくりと巡ってみませんか。
▼日時 / 7月20日(土) 9時 公民館前出発(雨天延期)
▼講師 / 山本 広氏
▼対象・定員 / 町民の方・30人
▼参加料 / 無料
▼持ち物 / お弁当・敷物・雨具・筆記用具
▼申込締切日 / 7月16日(火)
□申し込み・問い合わせ先 / 弟子屈町公民館 ☎482-2340まで。

厚み子とモ体験学習 「触れてみよう!作ってみよう!学んでみよう!」

町農林課と公民館連携で、町内の小学校3年生から6年生を対象に、町内の施設などを見学したり、アイスクリーム作り体験を行います。思いに残る夏休みにしましょう!
▼日時 / 7月29日(月) 9時30分 公民館前出発(雨天決行)
▼定員 / 20人
▼参加料 / 700円
▼持ち物 / 飲み物(水・お茶)、雨具(カッパ)、筆記用具
※昼食はこちらで準備します。
▼申込締切日 / 7月22日(月)
□申し込み・問い合わせ先 / 弟子屈町公民館 ☎482-2340まで。
※体験学習の内容については、後日、チラシでお知らせします。

「生きがい講座」で学んでいます



知床峠での記念撮影

「あの町この町を訪ねて」弟子屈・川湯学級合同宿泊研修が、6月13日から14日の1泊2日で行われ、38人の学級生が参加しました。

1日目は網走の北方民族、モヨロ貝塚館、知床博物館などを見学。町の文化や歴史を学びました。また天候にも恵まれ、世界自然遺産知床の自然も堪能することができました。
2日目は知床峠で記念撮影をし、知床国立公園羅臼ビジターセンターで、普段なかなか見られない貴重な自然映像を観賞しました。また、両学級の交流で親睦も深まり、心に残る楽しい宿泊研修となりました。

第13回 摩周ウオーケラリー ゲーム参加者募集!

▼内容 / 3人1組のチームでゲームやスポーツ種目を行い、隠しタイムで各種目の合計点数で順位を競う競技です。
▼日時 / 7月20日(土) 9時15分
▼場所 / 摩周観光文化センター周辺
▼対象 / 町民の方
※小学生未満の方は保護者同伴。
▼参加料 / 無料
▼賞 / 上位3チームと指定種目の優秀賞を授与。
▼申し込み方法 / 3人1組のチームまたは個人で申し込みください。申込用紙は、社会教育課体育振興係(公民館)にあります。
▼申込締切日 / 7月12日(金)
□申し込み・問い合わせ先 / 町教育委員会社会教育課体育振興係 ☎482-2948(課直通)まで。



趣向を凝らしたさまざまなゲームで勝負

羊毛フェルト講座を開催

社会福祉協議会ボランティアセンターとの連携講座「羊毛フェルト講座」が6月8日、公民館で開催されました。
講師は町内在住の伊藤千恵子さん。柔らかい羊毛にお湯などをかけて、こすりながら形を整え、眼鏡ケースや携帯ケースを作りました。
自分だけのオリジナル作品は、どれも優しい色使いに仕上がりに、参加者の皆さんも喜んでいました。



羊毛フェルトに挑戦

クラフトバンド教室 紅丸 会員募集しています!

昨年開催された、公民館講座「クラフトバンド講座」が、新たに公民館認定サークル「クラフトバンド教室 紅丸」として活動することになりました。クラフトバンドでいろいろな作品を一緒に作りませんか。
▼開催日 / 第2・4月曜日 12時30分～14時30分
▼講師 / 飯島満理子氏(中標津在住)
□問い合わせ先 / 代表 羽田信子 ☎482-3570まで。

第25回 弟子屈町民水泳競技大会 兼記録会の参加者募集



昨年の大会の様子

▼日時 / 8月11日(日) 9時
▼場所 / 川湯屋内温水プール
▼対象 / どなたでも参加できます。
▼種目
●幼児 / 25メートル板キック、25メートル自由形
●小学生以上 / 25メートル板キック、4泳法(自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライ) 25メートル、50メートル、100メートル、1000メートル個人リレー
▼参加料 / 2千円
※プログラム、昼食代を含む。
▼申込締切日 / 7月12日(金)
□申し込み・問い合わせ先 / 川湯屋内温水プール ☎483-2072まで。

みんなの活躍を紹介!
▼第65回北海道高等学校バドミントン選手権大会(6月12日から釧路市)男子団体(川本拓矢、二本松椋太、大関祐樹、今井玄、松田幹哉、瀬原健太)2回戦敗退

公民館ロビー展

5月22日から6月9日まで、雪あかりの森実行委員会写真展が開催されました。町内の知られている場所や穴場など、自然を中心とした写真を展示。親しみやすい作品が多く、弟子屈の魅力が教えてくれました。
6月12日から30日には、てしかが郷土研究会・公民館連携ロビー展「弟子屈町のうづりかわり」が開催されました。てしかが郷土研究会の協力を得て、郷土資料収蔵庫「てしかがの蔵」の収蔵品の一部を展示。当時使われていた、食器棚やちゃぶ台、ラジオなど40点近くが展示されました。また、明治から昭和中期までの懐かしい写真やポスターなども展示され、思わず立ち止まった来館者から「懐かしい」「覚えてる」などの声がかれました。
▼7月のロビー展 / 釧路ロケマップ・プスターに乾杯! 半田晴利 似顔絵展 7月2日(火)～19日(金)



昔懐かしい暮らしを再現

第1回中学交流野球 弟子屈大会を開催

弟子屈町体育協会(山田博会長)主催の第1回中学交流野球弟子屈大会が開催されます。
日頃、交流することの少ない管外のチームと大会を通じて親睦を深め、技術の向上を図ることを目的としたものです。
▼日時 / 7月20日(土)・21日(日) いずれも9時から
▼場所 / 町営球場
▼参加チーム / 7チーム(弟子屈1・釧路管内2・網走管内2・根室管内2)

「ジュニアベースボールミーツイング」を開催

中学校交流野球弟子屈大会の全チーム1回戦終了後、北海道日本ハムファイターズ元選手の指導によるジュニアベースボールミーツイングを開催します。多くの方の参加をお待ちしています。
▼日時 / 7月20日(土) 15時30分(予定)
▼会場 / 弟子屈中学校体育館(予定)
▼参加料 / 無料
□申し込み・問い合わせ先 / 弟子屈町体育協会事務局 大道 ☎482-2259まで。



町内の魅力を写真で発信



東星渡部建設(山村五十三代表取締役)の皆さんが5月25日、奥春別小学校と川湯中学校のグラウンド整備を行いました。子どもたちのためにと昨年に引き続き行ったもので、除草や転圧など、とても丁寧に作業を行っていました。



株今道東建設工業(今誠代表取締役)とクニオカ工業(同)の皆さんが5月28日、川湯小学校のグラウンド整備を行いました。2社合同で行うのは初めてです。除草や転圧、傾斜の修正などを行いました。



大成口テック株北海道支社弟子屈営業所(齋藤隆事務所長)の皆さん7人が6月13日、町営球場の整備を行いました。役場建設課による測量の後、グレーダーで表土を整地し、タイヤローラーで転圧しました。

地域の役に立ちたい 社会貢献いろいろ



開成建設工業(小澤由明代表取締役)の皆さんが5月17日に昭栄小学校、同28日に弟子屈小学校のグラウンド整備を行いました。子どもたちの喜ぶ顔が見たいと毎年行っています。また、6月5日には町営球場と泉ソフトボール場の整備も行っています。



株今道東建設工業(今誠代表取締役)の皆さんが5月24日、900草原入り口3キロ区間と町道釧路川右岸線12キロ区間の清掃を行いました。昨年に引き続き行ったもので、道路の清掃とごみ拾いを丁寧にっていました。

5月31日～6月2日 広々とした牧場で草をはむ 900草原に牛が入牧



900草原に放牧される牛たち

5月31日から6月2日の日程で、酪農家で育てられた若牛が、家畜車で運ばれ、広大な町営牧場・900草原へ放されました。今年は1,311頭

(6月14日現在)もの牛が集まりました。多くの牛たちは牛舎で育てられているため、なれない牧場に初めは戸惑っている様子。この後11月ころまで、広々とした草場で栄養ある牧草を食べ、たくましく成長して畜主のもとへ戻ります。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913 (課直通)

6月2日

今年のテーマは人と森とエゾシカの共生 摩周・水・環境フォーラムを開催

井田さんの講演に聴き入る参加者



第12回摩周・水・環境フォーラムが6月2日、弟子屈町公民館で開催されました。摩周水系西別川流域連絡協議会・摩周水

環境保全実行委員会・虹別コロカムイの会の主催で、西別川の環境保全を目的に毎年開催されています。今年のテーマは「人と森とエゾシカは共生できるのか」。講師は一般社団法人エゾシカ協会の井田宏之理事・事務局長で「エゾシカの現状・課題・対策を共に考える」と題して基調講演を行いました。また、弟子屈・標茶・別海の3町と虹別コロカムイの会によるエゾシカ対策の現状報告と全体討論も行われました。

6月1日～2日

自転車長距離走で弟子屈を満喫 初めてのグランfond摩周

桜咲く道東を駆け抜ける参加者



第1回グランfond摩周(同実行委員会主催)が6月1・2の両日、町内などを会場に行われました。

1日には、津別峠を登るタイムトライアルや安全走行講習会、交流会を開催。2日には、順位やタイムなどを競わずに自転車での長距離走を楽しみました。摩周湖・屈斜路湖・美幌峠・標茶町の多和平などを巡るロング(158キロ)・ミドル(108キロ)・ショート(50キロ)の3コースに、道内外から集まった8～72歳、約140人が参加し、雄大な道東の風景を楽しみながらゴールを目指しました。

6月24日

釧路川ってきれいだね、気持ちいいね おひさま・川湯両保育園児が川下りを体験

跳湖橋をくぐって釧路川へ



おひさま・川湯両保育園(清水節子園長)の年長児が6月

24日、釧路川の川下りを体験しました。地域の子供たちに、ボランティアで環境教育プログラムを提供している屈斜路ガイドステーションわか(木名瀬裕裕代表)の主催で毎年行っているもので、今年で10回目です。ガイドが同乗したネイチャーボート4艇に23人の園児が分乗。水の感触を楽しみ、魚や水鳥を長めながら、屈斜路湖から釧路川美登里橋まで約3キロの川下りを楽しみました。

6月23日

エコミュージアムセンターの自然ふれあい行事 イソツツジのお花畑を堪能

説明を聞きながら散策



川湯エコミュージアムセンター主催の自然ふれあい行事「イソツツジのお花畑を歩こう」が6月23日、町内外から10人が参加して、つつじヶ原自然探勝路で行われました。

この日は好天に恵まれ、例年に比べて開花が遅れていたイソツツジも、ほぼ満開に。参加者の皆さんは、阿寒国立公園の特徴である森と湖と火山の話にアイヌの生活史を織り交ぜた説明を受けながら、高山性植物のイソツツジがなぜ低地に自生しているのかの秘密に迫りました。説明を聞きながら歩くことで、硫黄山と周辺環境とのつながりや、植物を巧みに利用したアイヌの人たちの暮らしぶりを実感しました。

社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

犯罪や非行が生まれるのは地域社会であり、罪の償い、改善更生を果たす場もまた、地域社会にほかなりません。罪を犯した人も非行のある少年も、いずれは改善更生し社会復帰します。犯罪や非行のない安全・安心な社会を築くには、地域社会の中に受け入れ、見守り、支えていくことが必要です。

しかし今日、急速な少子化や高齢化、核家族化が進む中で、家庭や学校の教育機能の低下、社会の規範意識の希薄化、わが国で伝統的に犯罪を抑制する要因として機能してきた地域社会の連帯機能の低下などが指摘されています。

このようなことから、今年度も学校をはじめ関係機関・団体の協力を得て、第63回「社会を明るくする運動」道東地方推進委員会実施要綱に基づき、弟子屈町社会を明るくする運動推進委員会を組織し、本町の明るい地域づくりを推進していく運動を展開する予定です。

7月の事業実施予定

● 役場、川湯支所庁舎への懸垂幕の設置(7月1日～7月31日までの1カ月間)

● 大型店舗での街頭啓発活動

□ 問い合わせ先／「弟子屈町社会を明るくする運動推進委員会(事務局)役場環境生活課生活係 ☎482・2934(課直通)まで。

生活情報をみなさんにお知らせ!

Information

連絡先

- 役場 ☎482-2191
- 川湯支所 ☎483-2043
- 屈斜路支所 ☎484-2052

スズメバチにご注意

夏本番の到来とともに、ハチが飛び回る季節がやってきます。また、ハチの巣の駆除依頼が多数寄せられる季節です。

ハチは、目に見える場所以外にも、換気口の中や屋根の中など、雨が当たらないような場所にも巣を作ります。ハチの巣は、作り始めてから数日で想像以上に大きくなってしまふので、ハチを見かけたら巣ができていないか確認しましょう。巣ができているのを発見した場合は、早めにご連絡をお願いします。

▼ 家庭でできる対策

- 換気口にハチが入り込んでいたら殺虫剤を噴霧するなど、巣ができるのを予防する。
- 「誘香液」(次項参照)を利用する。

▼ 誘香液の作り方

- 用意する物／日本酒150cc・酢50cc・砂糖50g・75g・2リットルのペットボトル・ひもか針金・カッター
- ① ペットボトルの○の部分(左図)に、カッターで台形の穴を4つ開ける。
- ② 日本酒・酢・砂糖

※ 誘香液の効果は4～6日ほど持続しますが、ペットボトルが虫でいっぱいになったり、虫が寄り付かなくなったりしたら交換してください。

□ 連絡先／弟子屈地区Ⅱ弟子屈町社会福祉協議会 ☎482・5160、または弟子屈消防署 ☎482・2073、川湯

900草原を訪れる

町営牧場では、家畜伝染病侵入防止のため、900草原レストハウスから先の場内について、関係者以外の立ち入りの自粛をお願いしています。

町の基幹産業でもある酪農を守るために、皆様のご理解とご協力をお願いします。

□ 問い合わせ先／役場農林課農政係 ☎482・2936(課直通)まで。

休日公証相談を行います

▼ 日時／7月27日(出) 10時～16時

▼ 場所／釧路公証人役場(釧路市末広町7丁目2番地 金森ビル)

▼ 相談内容／遺言、相続、任意後見、尊厳死宣言、お金の貸し借り、賃貸借、離婚に伴う養育費・慰謝料・財産分与など。

▼ 相談料／無料

▼ 申し込み方法／相談を希望される方は、7月26日(金)までに電話で予約してください。

□ 予約・問い合わせ先／釧路公

道の苦情審査委員制

道が行った業務や制度の内容を審査する「北海道苦情審査委員制度」があります。苦情審査委員が皆さんに代わり、道の機関に対し中立的な立場で必要な調査などを行います。利害に関わる苦情であれば、苦情審査委員に申し立てができます。審査の結果が出るのは、約2カ月後です。

▼ 申し立て方法／苦情申立書(道庁・各総合振興局にあるほ

証人役場 ☎0154-21365まで。

文化センターガイド

7月 アリーナ町民開放日

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
区	休	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
分							◎									
日	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1
区	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
分					◎		休					◎		休		

◎ = 全面 休 = 休館日
(時間帯は18:00～21:00です)

6月6日現在の予定ですので、町民開放利用を希望する方は、文化センターにあらかじめお問い合わせください。

今月の主な行事予定

- 1～18日 AIE北海道合宿
- 19日 夜間リーグ大会
- 20日 ウォークラリー(雨天時)
- 21日 ソフトバレーボール親睦交流大会
- 27・28日 サッカー少年団合宿(雨天時)

問い合わせ先
釧路圏摩周観光文化センター ☎482-1811

7月 川湯屋内プールのお知らせ

- 初心者水泳教室(一般成人)
◇日時／7、14、28日 14時～14時45分
- がんばれ水泳教室(25メートル泳げる成人)
◇日時／3、5、10、12、17、24、26、31日 14時～14時45分
※○は送迎バスあり(13時10分 公民館前発)
- 水中運動教室(一般成人)
◇日時／4、6、11、13、18、25、27日 14時～14時45分
※○は送迎バスあり(13時10分 公民館前発)
- 水中ジョギング教室(一般成人)
◇日時／3、10、17、24、31日 10時30分～11時15分
- ナイト水中ジョギング教室(一般成人)
◇日時／5、12、26日 19時～19時45分
- フリー教室(幼児・小学生教室参加の保護者)
◇日時／6、7、13、14、27、28日 10時30分～11時15分
- 幼児水泳教室(幼児3～5歳)
◇日時／7、14、28日 10時30分～11時15分
- 小学生水泳教室(初めて水泳を習う小学生)
◇日時／6、13、27日 10時30分～11時15分
- 選手コース(摩周スイミングスクール所属)
◇日時／3、4、5、6、7、10、11、12、13、14、15、17、18、24、25、26、27、28、31日 15時～17時



- 小・中・高校生／無料
- 一般／520円(税込み)
- 毎月第2・4土曜日は無料開放日!
- 10時～17時(水・木・金・土・日)
- 今月の休館日(1、2、8、9、16、19、20、21、22、23、29、30日)

- 7月25日(木) 15時30分～17時
- 7月26日(金) 9時～17時
- ※受け付けは両日とも16時まで。
- ▼ 場所／釧路地方合同庁舎(釧路市幸町10丁目3)
- 当日来られない方についても、常時相談を受け付けています。
- 多重債務者相談窓口 ☎011-807-5144
- 金融ほっとライン ☎011-807-5145
- 中小企業等金融円滑化相談窓口 ☎011-729-0177
- 問い合わせ先／北海道財務局 ☎011-807-5144・5145(相談員直通)まで。

多重債務などの無料出張相談会を開催

北海道財務局では、借金返済の悩みを抱えている方からの相談を受け付け、専門の相談員が無料で話を伺い、相談者にあった解決方法を提案しています。

また、預金・融資、保険、貸金、投資商品など、金融消費・サービスに関する質問。相談も受け付けています。

次の日程で「多重債務・金融一般無料出張相談会」を開催します。秘密は守られますので、お気軽にご利用ください。

おはなしはらっぱ

7月

テーマ 『たのしい本』

- ☆6日/『さる・るるる』 ほか2冊
- ☆20日/『デイビッドがやっちゃった!』 ほか2冊
- ☆27日/『14ひきのピクニック』 ほか2冊

※13日は夏まつりのためお休みです。

○時間/午後1時～ ○場所/弟子屈町図書館
おはなしはらっぱは毎週土曜日午後1時! みんな集まれ!

大鵬相撲記念館を無料開放

弟子屈町が生んだ名横綱・大鵬(故 納谷幸喜さん)の偉業と功績をたたえ、その功績を永く後世に残そうと建設された大鵬相撲記念館を下記の期間、無料開放します。この機会にぜひ来館いただき、町の偉人である大鵬さんの輝かしい偉業と功績をご堪能ください。

- ▶対象/町民の方
- ▶期間/8月1日(木)～8月6日(火) 5時30分～21時
- 問い合わせ先/大鵬相撲記念館 指定管理者 (有)やまな商店 ☎483-2924まで。

7月の町税などの納期限

今月の町税などの納期限は次のとおりです。納め忘れのないようにしましょう。

- ▶固定資産税2期 7月31日(水)
- ▶国民健康保険税2期 7月31日(水)
- ▶後期高齢者医療保険料2期 7月31日(水)

夜間納税窓口開設のお知らせ

日中、仕事などで役場に来られない方々のために、次の日程で「夜間納税窓口」を開設します。ぜひ、ご利用ください。

- ▶開設日/7月24日(水)
- ▶開設時間/午後8時まで
- ▶開設場所 役場庁舎・川湯支所
- 問い合わせ先/役場税務課 ☎482-2914(課直通)まで。

納税窓口



小学校5・6年生を対象に裁判所体験

小学校5・6年生とその保護者の方を対象に「夏休み特別企画」親子で体験「裁判所」を開催します。

▼日時/8月2日(金) 9時30分～11時50分

▼場所/釧路地方裁判所(釧路市柏木町4-7)

▼内容/DVD視聴、模擬裁判、法廷見学、クイズ大会、裁判官に対する質問など。

▼定員/小学校5・6年生とその保護者 合計40人(先着順)

▼申し込み方法/①グループ(保護者は最低でも1人同伴)か②個人(親子)で、電話かファクスで申し込みください。

□申し込み・問い合わせ先/釧路地方裁判所事務局総務課庶務係 ☎0154-912251 2222 ☎0154-6532 まで。

7月1日～7日は全国安全週間

「高めよう 一人ひとりの安全意识 みんなの力でゼロ災害」をスローガンに、全国安全週間が7月1日～7日に展開されます。それぞれの職場で労働災害防止の重要性を再認識し、労働者の

安全を確保していきましょう。

全国安全週間中の7月5日(金)13時30分から釧路市民文化会館で、釧路地区産業安全衛生大会が開催されます。

□問い合わせ先/釧路労働基準監督署 ☎0154-9711 まで。

ぼくでんの名をかたはる不審者に注意を

最近「ぼくでん」や「ぼくでんの委託」と偽って家上がり込み金品を盗んだり、電気料金の返金を装ってATMの操作を誘導する事例が発生しています。

また、事業所などを経営されている方には「ぼくでん」や「ぼくでんの委託」と偽り、契約内容の聞き取りや、動力設備の調査点検・契約内容の見直しを勧誘する事例も発生しています。

6月1日以降、釧路管内で40件(6月20日現在)、全道150件、弟子屈町でも6月17日以降に4件発生しています。

「ぼくでん」や「ぼくでんが業務を委託している会社」の社員が伺いする際には、必ず身分証明書を携帯しています。また、右記のようなことを願います。また、右記の一切ありませんので、ご注意ください。不審に思うことがあった際は、お問い合わせください。

□問い合わせ先/北海道電力弟子屈営業所 ☎482-2019 まで。

7月は不正軽油防止強化月間です

不正軽油とは、軽油引取税を脱税するために、軽油に灯油や重油を混ぜ合わせるなどした燃料油のことです。

不正軽油の話を聞いたたり、給油するところを目撃したりしたときは、情報をお寄せください。

▼不正軽油ストッパ110番 ☎0800-8002-110 (通話料無料)

□問い合わせ先/釧路総合振興局地域政策課課税課事業税間 係 ☎0154-9165(直通)まで。

寄付ありがとうございました

□今井林業様

代表取締役専務 西村良雄様

▼現金 20万円

●緑化活動に役立ててほしい。

□泉自治会女性部

部長 佐々木 麻千子様

▼現金 2万円

●福祉センターの施設改修に役立ててほしい。

□明治安田生命中標津営業所

所長 布川 昌彦様

▼ごみ袋 50枚

●自然の番人宣言への協賛として。

町営住宅 入居者を募集します

役場では、次の期間で町営住宅入居者を募集します。入居者は、条件を備えている方から、困窮度などに応じて決定します。

- ▶受付期間/7月2日(火)～7月9日(火)(土・日曜日を除く)
- ▶受付窓口/役場建設課管理係・川湯支所
- ▶入居時期/7月下旬～8月上旬の予定
- ▶入居敷金/住宅料(月額)の3倍の額

※入居要件、入居基準など、詳しくはお問い合わせください。

※入居しようとする方、同居しようとする親族などが暴力団員である場合は、入居が認められません。

□問い合わせ先/役場建設課管理係 ☎482-2941(課直通)まで。

公募対象住宅一覧表					
団地名・構造	建設年度	規模	月額住宅料	戸数	備考
※泉団地(中層耐火3階建)	H7	1LDK	16,000～23,900円	1	48.85㎡(1階)
美留和団地(簡易耐火平屋建)	S52	3DK	9,000～13,400円	2	53.61㎡
川湯駅前団地(簡易耐火平屋建)	S61	3DK	14,300～21,200円	1	63.71㎡
緑団地(簡易耐火2階建)	S51	2DK	9,600～14,300円	1	53.01㎡

注1 ※印の団地は、管理費が毎月200～3,000円程度かかります。(団地によって異なります)

注2 場合によっては募集内容を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

注3 新泉ヶ丘団地は特定目的住宅(高齢者などの世帯向け住宅)とし、高齢者の方や障がいのある方、戦傷病者の方を優先して選考します。

募集 自衛官・各種学生

平成26年3・4月採用の自衛官と各種学生を募集します。



種目	資格	試験日
自衛官候補生(男子)	18歳以上27歳未満の方	9月24日(火)・25日(水)
自衛官候補生(女子)		9月23日(月)
一般曹候補生(男子・女子)		9月16日(月)・17日(火)
航空学生	高校を卒業した(見込みを含む)方で21歳未満の方	9月21日(土)

問い合わせ先/自衛隊帯広地方協力本部釧路出張所 ☎0154-1053

大切な家を守るお手伝い

住宅建築資金の一部を助成

町では、住宅建築と定住の促進、地域の振興を目的に、住宅の新築・増改築、リフォームなどに要する費用の一部を助成しています。対象は本町に本店または支店、事業所のある町内業者と工事契約をした方で、金券取扱店として登録した店舗や事業所などで使える金券での助成となります。詳しい要件や手続き、助成金額などについては、お問い合わせください。

▶助成額

- 新築・増改築(500万以上)/工事請負契約金額の5%以内で、50万円を限度。
- 増築・リフォーム/助成対象経費の10%以内で、20万円を限度。

▶金券の取扱店を募集しています

建築資金の助成金として発行される金券の取扱店を募集しています。対象は町内に本店事業所を有し、事業を行っている方です。建設業に関わらず、小売業や飲食店、理容業など、たくさんの店舗の登録をお願いします。

住宅相談窓口を開設しています

「これから住宅を建てたい」「現在お住まいの住宅建て替えやリフォームなどのアドバイス」など、有資格者がさまざまな相談に応じます。

無料耐震診断と耐震改修補助を行っています

1981(昭和56)年以前に建設された一戸建て住宅に対し、無料で簡易耐震診断を行っています。耐震改修に対する補助も行っていきますので、ぜひご相談ください。

問い合わせ先/役場建設課 ☎482-2941(課直通)

Monthlyのこよみ

主な予定を掲載しています

日	月	火	水	木	金	土	
記号の見方 ○～健診や子育て相談など □～行政相談、人権相談 △～保育園開放など ◇～子育て支援センター開放など ◇～税の納期など ◎～イベント、その他	ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) 健康相談(役場・10:00～) 母子手帳交付(役場・10:00～)	2	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) ひなたぼっこ移動開放「0～3歳」(川湯駅前交流センター・9:30～11:30)	3	ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	4	ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)
7	ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) 健康相談(役場・10:00～) 母子手帳交付(役場・10:00～)	9	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) ひなたぼっこ移動開放「0～3歳」(川湯駅前交流センター・9:30～11:30)	10	ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	11	ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)
14	摩周の里・夏まつり(役場前駐車場・9:00～15:00)	15	ひなたぼっこ開放「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	16	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) 乳児・1歳半健診(福祉センター・9:15～) フッ素塗布(福祉センター・10:00～) 予防接種「BCG」(福祉センター・14:30～)	17	ひなたぼっこ親子遊び「ミニ運動会」(みはらし台児童館・9:30～11:30) ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・14:00～16:30) 行政相談(公民館・13:00～)
21	ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) 健康相談(役場・10:00～) 母子手帳交付(役場・10:00～)	22	ひなたぼっこ開放「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	23	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) ひなたぼっこ移動開放「0～3歳」(川湯駅前交流センター・9:30～11:30) 夜間納税窓口開設(役場/川湯支所・20:00まで)	24	ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)
28	ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) 健康相談(役場・10:00～) 母子手帳交付(役場・10:00～)	29	ひなたぼっこ開放「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	30	保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) 固定資産税2期、国民健康保険税2期、後期高齢者医療保険料2期納期限	31	

■問い合わせ先/健康推進課☎482-2935 環境生活課☎482-2934 税務課☎482-2914 おひさま保育園☎482-2444 子育て支援センター「ひなたぼっこ」☎482-5667

▼町内小・中学校の運動会・体育大会が全て終了しました。今年ほどの学校も好天に恵まれ、暑さにも負けず一生懸命競技している子どもたちの姿を取材することができました。来年の運動会も、子どもたちの一生懸命な姿を取材したいと思います。(石島)

●編集後記

▼いろいろな形での発言や情報発信が可能となった今、コトバの持つ大きな力に思いがけない形で気づく...といったことに度々直面。良くも悪くも影響力が強く、一度口にした元には戻らないのがコトバ。だからこそ大切にしなければと、あらためて思いました。▼運動会・体育大会の様子は、8月号で紹介しました。(宮田)

人のうごき 5月末現在

●人口計 8,040人 (マダ1)

●世帯数 3,993世帯 (マダ3)

●お誕生おめでとうござります

上野 巧人ちゃん(謙志) 桜丘3
齋藤 春歩ちゃん(哲治) 屈斜路
阿部 孝太郎ちゃん(孝典) 川湯駅前1

お悔やみ申し上げます

青木 政司さん(61歳) 中央3
伊藤 時江さん(89歳) 美里4
菅野 正好さん(78歳) 桜丘1
柴田 茂さん(74歳) 湯の島1
鈴木 憲さん(75歳) 川湯温泉5
羽田クニ子さん(75歳) 泉2
藤田 公也さん(74歳) 美留和
松田 雄孝さん(73歳) 川湯温泉2
渡邊 利治さん(76歳) 川湯温泉4

*お誕生とお悔やみは、5/1～5/31に届け出をされた方のうち、掲載を希望された方のみ掲載しています。

ひとつになつたよ



かこしま みえい ちゃん
神子島 未映 ちゃん

かゆかわ こころ ちゃん
粥川 心愛 ちゃん

くらた えいと ちゃん
櫻田 英翔 ちゃん

なかざわ りおん ちゃん
中澤 俐音 ちゃん

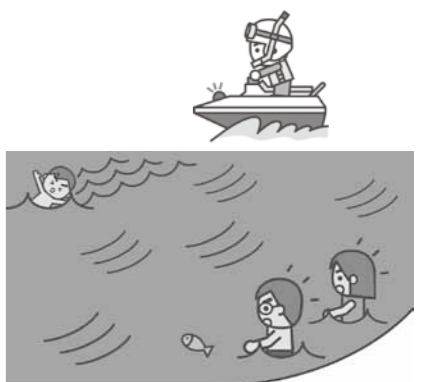
ふじわら はると ちゃん
藤原 大翔 ちゃん

さらした はるか ちゃん
更科 遥音 ちゃん

水の事故にご注意を!!

気温が高くなる夏場は、海や湖・川で泳いだり釣りをしたりなど、水辺で遊ぶ機会が多くなると思います。これに伴い、夏期(6月～8月)は水に関する事故が最も多く発生しています。平成24年中における全国の水難事故は1,448件で、死者・行方不明者は782人となっています(警察庁調べ)。楽しいはずのひとつが悲惨な事故につながらないように、次の注意事項を必ず守りましょう。

- ### 水辺で遊ぶときの注意事項
- 1 水辺で子どもを遊ばせるときは、保護者などが付き添い、目を離さない。
 - 2 天候不良のときや体調の悪いとき、お酒を飲んだときは泳がない。
 - 3 水泳をするときは、危険と思われる場所や遊泳禁止区域では泳がない。
 - 4 自分の力を過信して溺れてしまう方や、手足に藻がからんでしまって事故に遭われる方も少なくありません。油断や不注意から事故に遭わないよう注意しましょう。
 - 5 釣りやボートなどで水辺へ行くときは、必ずライフジャケットなどを着用する。



火事と救急は119番 弟子屈消防署

5月末までの出動件数

火災	弟子屈	3件
	川湯	1件
救急	弟子屈	164件
	川湯	44件

☎482-2073 E-mail:teshikaga.fire.119@bird.ocn.ne.jp